

- 東久留米市では、市内の樹林地や公園等に存在するみどり（樹木）を未来へと残していけるよう、適切に管理するとともに、雑木林の若返りの必要性を子供たちに伝えるための事業を実施する方針。
- 令和元年度においては、以下の取組により、普及啓発及び森林整備につながった。
 - ・ 毎年開催している市事業である『環境シンポジウム』にて、向山緑地若返り事業のキックオフイベントとして、講演及びワークショップを開催し、普及啓発を行った。
 - ・ 向山緑地公園において、市内環境団体や学校法人の協力を得て、樹木の剪定箇所等を決定し、樹木剪定等による萌芽更新を行った。

□ 事業内容

1 講演及びワークショップの開催

- ・ 向山緑地若返り事業のキックオフイベントとして、『環境シンポジウム』で講演及びワークショップ（フィールドワーク・木工教室）を開催。

【事業費】175千円（うち譲与税175千円）

【実績】講演参加者128名、ワークショップ参加者11名

2 萌芽更新の実施

- ・ 向山緑地公園にて樹木剪定等による萌芽更新の実施。

【事業費】4,457千円（うち譲与税4,227千円）

【実績】樹木の剪定及び伐採本数34本



（事業1：ワークショップ）



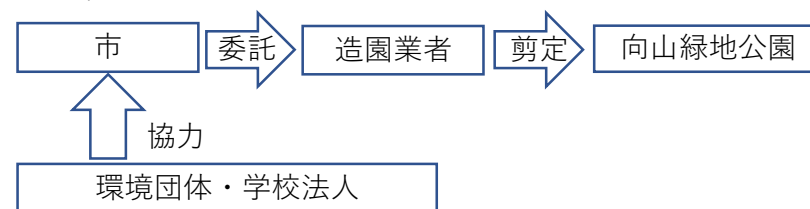
（事業2：萌芽更新）

□ 事業スキーム

1 講演及びワークショップの開催



2 樹木剪定等による萌芽更新の実施



□ 工夫・留意した点

- ・ ワークショップでは、向山緑地公園の木を使用して、木工教室を開催した。
- ・ 樹木の剪定にあたっては、環境団体や学校法人の協力を得て、剪定箇所を決定した。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	4,402千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.0%
④人口（※3）	116,632人
⑤林業就業者数（※4）	0人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より